

Panasonic NPOサポートファンド
子ども分野
2011年助成事業 成果報告会

発達障害児の治療教育・相談活動
に携わる若手専門家の育成

特定非営利活動法人 銀杏の会

当法人の活動の概要

発達に遅れや偏りのある子ども
(自閉症など)の治療教育・
家族相談の場を運営する団体

スタッフは臨床心理士が中心

定款には、

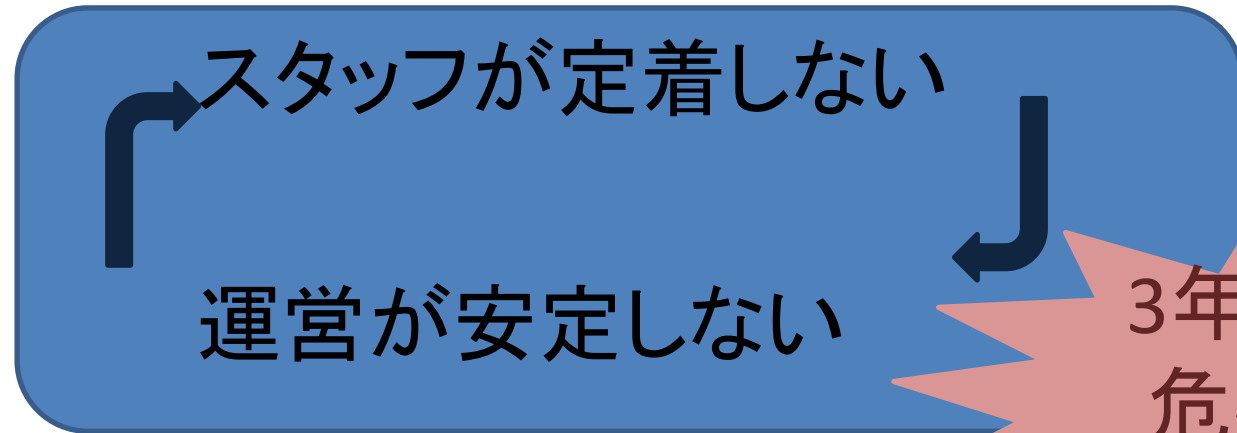
- ・センター運営事業
- ・普及啓発事業
- ・研究事業 など

しかし、

目の前の親子への対応に必死で、
それを疑問にも思わない日々...



組織基盤強化事業実施の背景



3年前の
危機！

長期に臨床を担ってくれる中堅スタッフ
組織の次代を担ってくれる常勤スタッフ が育たない

ビジョンを共有できていなかった
人材育成のあり方に大きな問題があった と反省

目的と目標

継続的に安定し発展していける組織基盤づくり
～ここで育ち、成長し続けていきたいと思ってもらえるような
魅力ある組織に～

若手専門家の
育成

人材育成プロ
グラムの作成

普及啓発活動
への活用

1年目の取り組み概要

人材育成のあり方の見直し

～OJTに偏り過ぎであったことへの反省から～

- ・日々の臨床場面の見学・記録・実践・教材作成(OJT)
- +
- ・内部研修会やカンファレンスの開催・参加
- ・外部研修会参加や他機関見学の機会の設定
- ・レポートや人事面接、テスト等による育成状況・ニーズの確認

* 3年程度で身につけて欲しい知識や技術を列挙

→プログラム化

今期の実施概要

若手専門家の育成

人材育成プログラムの作成

普及啓発活動への活用

1年目 6名の育成

試作

育成研修会の開催
→レジュメ等の蓄積

2年目 +5名の育成

改良

//

普及啓発事業の立案

組織運営に関心を持ってもらうための工夫を追加

成果1：若手の順調な育成状況

指導のもとに
親子を担当出来る

自分で仕事を見つけて
活動できる



先輩が後輩に自然に教える

常勤スタッフの出張時に代役を務めてくれる・・・

成果2: 人材育成プログラムの改良

3年間くらいで身につけて欲しい
知識・技術のリスト

個別性への配慮

組織運営に関する項目を追加

こちらがどの程度伝達できたか
常勤スタッフ複数で5段階評定

本人が何を学んだ／学びたい
と感じているか、
中間面接で調査し反映させる

人材育成プログラム(試案)

名前:

1:伝達できていない~5:充分伝達した

項目	1年目	2年目	3年目	まとめ
障害	3	4		
定型発達	2	3		
Stage	3	4		
知能検査	4	4		
治療原則	2	3		
福祉制度	1	2		
カウンセリング	2	3		
自己理解	1	2		
NPO概要	1	2		
(中略……)				
コメント				

成果3: スタッフの育ちあいの効果

つながりを知ろう



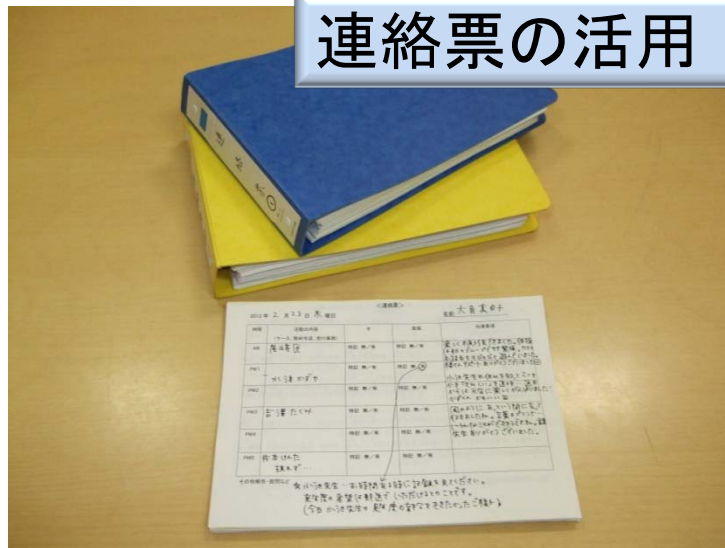
グループワーク



研修後の親睦会



連絡票の活用



課題

まだ答えは出ていない・危機は依然続いている

組織を担う人材を本当に育てられるのか？

組織への帰属意識を高めるにはどうしたらいいのか？

中堅スタッフの育成をどうするか？

我々が組織の運営ということについて
まだ分かっていないことがたくさんあること

今後の取り組み ～3年目～

もともと3年間で形にしたいと考えていたもの

→新規採用は控えめにし、

更に人材育成とプログラムの洗練化を進め、
まとめの一年にしたい

プログラムの活用開始

「“認知発達治療”実践講座」の試行が決定

→安定した運営のための資金作りとして展開

*** どうぞよろしくおねがいたします ***